

# 小学校 2年 国語科

考える × 読む書く

育成したい  
国語力

書かれている内容の中から、違いや変化をもとに、「わけ」を読み取る。「わけ」を明らかにしながら、書く。

## 単元名

### だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」

## 本時の目標

クマノミとイソギンチャクとのかかわりを読み取る。(読む能力)

## 本時の流れ

### 導入

本時のめあてを知る。

めあて：  
クマノミとイソギンチャク  
のかかわりを見つけよう。

### 視点①

論理的に表現する力を付けるために、書き方やまとめ方の型を示すことも大切です。視点を明確にした書く機会を日々の授業でも充実させていくことで、書くことへの抵抗を少なくすることにもなります。

### 視点②

書かれている事柄を順次読み取っていくだけではなく、述べられている事柄を相互に関連付けて解釈する力を育てる取組を大切にしたいものです。低学年から視点を変えて考えることを大切にしたい取組が、熟考して考える力を育てることにつながります。

### 展開

「サンゴの海の生きものたち」に出てきた海の生きものとその関係を確認する。  
・イソギンチャクとクマノミ  
・ホンソメワケベラと大きな魚

それぞれがどのようにかかわり合っているのかを読み取る。

クマノミとイソギンチャクとのかかわりをクマノミの視点からまとめ、発表する。  
・書き出しをしめす。  
・クマノミが言ったように文末表現を変えただけでも、まとめになることを知らせる。

発表する。  
・どのようにかかわりあっているかが分かるように説明できていたかについて、相互評価する。

### まとめ

本時のまとめを行う。

これで、わたしとイソギンチャクさんがなかよしであるわけが分かりましたか。  
これからそのりゆうを、話します。  
ぼく(わたし)は、クマノミです。イソギンチャクさんとは、とてもなかよしです。びっくりしたでしょう。  
これからそのりゆうを、話します。

## 単元の流れ

### 第1次

・写真や題名から感じたことや、初読後の感想をまとめる。

### 第2次(本時)

・海の生きもののかかわり合いについて読み取る。

### 第3次

・「生きものカード」を作る。

## 国語力育成の視点

低学年では「書かれている事柄や場面の様子に気付く力」を付けることが求められています。第2学年の2学期のこの単元においては、時間的な順序を中心にした指導だけでなく、事柄を意識する指導へと広げていくことも大切にしたいものです。それが、中学年での「中心となる語や文」の把握や「段落」意識の形成につながっていきます。また、書かれている内容に即したワークシートだけではなく、書かれている内容を自分の言葉で表現する等、学年に応じ段階的に読む力を高めていくことにつながるワークシートを工夫し、考える力を育成します。

## ワークシート

イソギンチャクは、クマノミを  
〔どのようにして〕、〔何から〕  
まもっています。

クマノミ

### かかわり合い

クマノミの写真

イソギンチャク

クマノミは、イソギンチャクを  
〔どのようにして〕、〔何から〕  
まもっています。